

平成25年度 県教育委員会が実施した関連行事

事業名	期日(期間)	会 場	参加対象者	内 容	参加人数	御意見・御感想
わくわくまなびフェスタ	10月6日(日)	県立教育研究所	県内の児童・生徒及びその保護者、県内教員及び教員志望の学生、教育に関心のある方	子どもの「学習意欲の向上」を目指し、県内の学校関係者、諸団体の多様な教育力を結集し、共に様々な学びの場の具体例を示すことで、子ども、教員、保護者に学びへの気付きとなる機会を提供する。同時に、県民に、県教育委員会の教育課題への取組等についての理解を深めてもらう。	2126人	様々な教育力を結集させ、学びへの気付きの機会を提供することが出来た。 子どもたちがすごく楽しみながら学べて良い体験になりました。(保護者)
ふれあいフェスタ2013	10月27日(日)	うだ・アニマルパーク	幼・小・中・高校等の児童・生徒、保護者、地域の人々	世代を超え、子どもたちや保護者・地域の方々、県内の学校・教育関係者が、うだ・アニマルパークに結集し、「いのち」「絆」「ぬくもり」を開催テーマに、様々な体験を通して、心の交流を図り、参加者が「いのちの尊さ」を実感することにより、思いやりの心や規範意識、社会性を育むとともに、地域教育力の向上を図る契機とする。	4200人	参加者が様々な体験を通していのちの尊さを実感でき、思いやりの心や規範意識を育むための学びの場となった。また、県内11校の高校生が企画・運営に主体的に参画して、社会性やマネジメント力の向上を図ることができた。
チャレンジ運動フェスタ!	12月21日(土)	県立権原公苑第1体育館	幼児・小学生とその保護者	第1部では「チャレンジ運動大会」と題し、仲間と力を合わせて「ペアなわとび」と「8の字大なわとび」の記録に挑戦することを通して、子どもに運動への親しみや集団で運動する楽しさを味わわせるとともに体力の向上を図る。また、第2部では「親子でチャレンジ」と題し、親子体操教室を実施して親子のスキンシップを深め、体を動かすことの楽しさを体験する機会とする。	1109人	昨年に比べて、第1部への参加児童数と学校数が増え、第1部、第2部ともに大いに盛り上がった。初出場の学校は、他校の児童のがんばる姿に刺激を受け、来年への期待を膨らませていた。
平成25年度 科学の甲子園ジュニア 奈良県大会	11月2日(土)	県立教育研究所	県内中学校1、2年生 (中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒又は学生)	第1回科学の甲子園ジュニア(全国大会)の代表選考会 科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を行う。	30人	(参加者の感想) 電車の問題で、実際の算出方法が分かりおもしろかった。来年もぜひ、参加したい。興味のある問題が出ていて、おもしろかった。難しくわからなかったが、将来は解けるようになりたい。
平成25年度 科学の甲子園 奈良県大会	11月9日(土)	県立教育研究所	県内高校1、2年生 (中等教育学校後期課程及び高等専門学校にあっては同年次の生徒又は学生)	第3回科学の甲子園(全国大会)の代表選考会 科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を行う。	50人	(参加者の感想) 知識だけでなく、応用力も試されるような問題に興味をもった。グループで問題を解いていくので、チームワークと作戦が必要だと思った。来年は、リベンジをしたい。
第22回 奈良県産業教育フェア	11月16日(土)	県立奈良朱雀高等学校	中学生及びその保護者、教育関係者、産業界及び広く県民等	研究・体験発表、作品展示・実演・販売実習、学校紹介、進路相談、即売、体験コーナー	950人	(来場者の感想) 生徒がわかりやすく(長すぎず、専門的になりすぎず)説明してくれて良かった。 人との交流を大切にできるいい機会でした。 生徒さんがとても親切にしてくれて、うれしかった。

平成25年度 県教育委員会が実施した関連行事

事業名	期日(期間)	会 場	参加対象者	内 容	参加人数	御意見・御感想
人権教育ミドルリーダー育成講座	11月1日(金)	斑鳩町中央公民館	平成25年度人権教育ミドルリーダー育成講座受講者	①講義「地域の歴史に学ぶ人権教育」 ②フィールドワーク「法隆寺周辺の地域社会を訪ねて」	18人	・「部落史の見直し」にとどまらず、学級の問題を単に個人の問題としてではなく集団の関係性からも考えることが必要。 ・児童の発達段階に合わせながら、地域社会への興味関心を喚起すること、地域社会に存在する課題を探すことやその解決方法を学ぶことが必要。
人権教育推進(児童生徒支援)教員研修会並びに人権教育実践up講座	11月7日(木)	社会教育センター研修施設(まなびの森・かつらぎ)	県内公立小中学校の人権教育推進(児童生徒支援)教員、県内小・中・高校、特別支援学校の教員	①グループ別討議「人権尊重の視点に立った学校づくりへの参画」 ②講演「LGBTの人権課題と現状―学校で配慮が必要な視点―」	108人	・人権教育推進教員として、校内の人権教育をどのようにコーディネートしていくのかという視点をより確かなものとした。 ・性的少数者の人権に関して、これを身近な課題と捉えて、しっかり取り組む必要のあることを確認できた。
県立同和問題関係史料センター創立20周年記念講演会 人権教育シンポジウム	12月3日(火)	かしはら万葉ホール	県及び市町村教育委員会 小中県立学校の教職員 関係団体等	①オープニング・プレゼンテーション(史料センター20年の歩み)～開会挨拶 ②記念講演 九州大学教授 服部英雄 ③プロローグ～人権教育シンポジウム	430人	・現代社会においては、未だ差別意識が克服されたとは言えない状況がある。その解消に向け、歴史に学ぶ取組を進めることが大切。 ・子どもの声・地域の思いを出発点にした取組を、広く地域に発信することで、人権尊重の視点に立った地域コミュニティが築かれていく。子どもの自治を支援し、地域を愛する子どもを地域で育てていくことが求められている。
識字合同学習会 (第12回ふれあい広場)	12月14日(土)	広陵中央公民館 かぐや姫ホール	市町村の識字学級生及び関係者、日本語教室、中学校夜間学級、自主夜間中学校等の生徒及び関係者、県・市町村職員、学校教職員、社会教育関係団体指導者、県民	①オープニング:中学生による吹奏楽 ②識字学級等の取組紹介 ③識字学級生等による作文発表 ④朗読劇 ⑤識字学級等の作品展示	248人	・学級生自らがナレーションを務めた取組紹介や識字に懸ける思いを込めた作文発表、作品展示を通し、「識字」の意義や学ぶことの意味を参加者が共有できた。 ・識字問題が重要な人権課題であることの理解を深める上で、貴重な学びと交流の場となった。より多くの地域の皆さんに広めていきたい。
「地域と共にある学校づくり」セミナー&ガイダンス ～学校・地域パートナーシップ事業研修会～	10月11日(金)の開催を延期し12月24日(火)に実施	県立教育研究所	県内小中県立学校管理職及び教職員、学校関係者、市町村教育委員会、学校・地域パートナーシップ事業関係者等	①地域と共にある学校づくり(ガイダンス) ②実践発表(田原本町立北小学校) ③トークセッション ④各地域・学校別情報交換	305人	「学校・地域パートナーシップ事業」関係者等が、「地域と共にある学校づくり」～学校コミュニティ～についての理解を深めるとともに、意見交流を通して参加者間に新たなネットワークを構築することができた研修会であった。実践発表では、学校と地域が熟議をしながら取り組んでいる事例を報告いただいた。トークセッションでは、「地域コミュニティを切り拓くこれからの私たち」と題して、協働を推進するしつけや、学校運営に参画するパーソンについて、ご教示いただいた。情報交流では、参加者の立場ごとのグループをつくり、日頃の取組の情報を交流することができた。

平成25年度 県教育委員会が実施した関連行事

事業名	期日(期間)	会場	参加対象者	内 容	参加人数	御意見・御感想
平成25年度奈良県地域教育カサミット第2部会「地域協働による教育部会」オープンセミナー	10月11日(金)	県立教育研究所	市町村教育委員会教育長等、教育委員会事務局関係職員、県内小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の校長等	オープニング：「悠久の美 奈良」～弦楽の調べ～ 第Ⅰ部 ①県教育長開会挨拶 ②県教育委員長提案 ③講演 文部科学省初等中等教育局参事官付学校運営支援企画官 出口寿久 ④県教育委員会事務局次長閉会挨拶 第Ⅱ部：各校種ごとの情報交換会	321人	第4回奈良県地域教育カサミットでの議論を受け、現在、全県的に推進する学校コミュニティ(=奈良モデル)の今後の方向として、企業、大学、公民館等社会教育施設とのネットワークの構築について提案するとともに、「地域と共にある学校づくり」を一層定着、発展させるための学校づくり・地域づくりの新たな展開方策について、情報交換を行った。第Ⅰ部の講演会では、「地域と共にある学校づくり～地域との信頼・連携を強める仕掛けの構築と活用～」と題して、全国のコミュニティ・スクールの事例から、本県が進めている「地域と共にある学校づくり」や今後の方向性について、ご教示いただいた。また、第Ⅱ部では、校種ごとに、「新たな連携」をテーマに具体的な方策について協議し、意見を交流することができた。
第45回奈良県社会教育学校	10月30日(水)	県立教育研究所	県及び市町村の社会教育委員	①講演	120人	・社会教育委員として考えている問題に大いに参考になる内容であった。 ・多様な集団の中で活動を続けているため今後活用できる内容であった。 ・地域活動を行っている中で大きな力を得たと感じさせる内容であった。 ・地域のつながりが希薄になっている今、本当に大切な話を聞いてよかった。
第61回近畿公民館大会	11月14日(木)～15日(金)	奈良県文化会館 奈良商工会議所	近畿2府4県の公民館関係者、府県関係者	14日(木) 分科会、レセプション 15日(金) アトラクション、式典(表彰式)、記念講演	690人	・各分科会において、グループ討議を取り入れることにより、参加者同士の情報交換や討議が深まった。 ・全体会の講演において、生きていく上での人々との「絆」や地域における「絆」の大切さ、その中での公民館の役割を改めて考える機会となった。 ・地域と共にある公民館の在り方、地域コミュニティの再構成における公民館の役割を再確認するとともに、今後の公民館活動の充実・発展に向けた意欲の向上へつながる契機となった。
地域イキイキ塾②	10月30日(水)	県立教育研究所	地域コーディネーター、学校支援ボランティア、教員、PTA、社会教育委員	学校・家庭・地域の連携を図るための地域ネットワークづくりを推進するために、社会全体で共に学び合いながら地域教育力を向上させるための研修講座。	120人	・非常に熱く語っていただきたい講演であった。 ・地域コーディネーターとして初めて自分がどんな立場に立ち、どのように考えなければならないのかを学ぶことができた。 ・先生の話を聞き、ボランティアの在り方について理解できた。 ・人と人のつながりの大切さ、コミュニティづくりの大切さを再認識させられた。

平成25年度 県教育委員会が実施した関連行事

事業名	期日(期間)	会 場	参加対象者	内 容	参加人数	御意見・御感想
国宝薬師寺東塔修理現場特別公開事業	11月9日(土)～10日(日)	薬師寺東塔修理現場	一般の人 (小学5年生以上)	国宝薬師寺東塔の保存修理現場を公開します。 三層目の解体後の状態を間近で見学できます。 往復ハガキでの申し込み制(申し込み多数の場合は抽選) 参加費無料	1000人	当現場においては、3回目の公開であった。職員の熱意もあり、創意工夫がなされた公開ができたと自負している。来場者からも「今までで一番良かった」との感想を多くいただいている。今後も、文化財建造物修理に対する県民の理解を得るため、現場公開の実施を考えてまいりたい。
橿原考古学研究所附属博物館 平成25年度秋季特別展 「美酒発掘」	10月5日(土)～11月24日 (日) 毎週月曜日休館(月曜日が 祝日の場合は開館、その 翌日が休館)	橿原考古学研究所附属博物館	県 民	・展示構成 序 章 奈良の酒文化と世界の酒器 第Ⅰ章 日本最古の酒と日本酒原料の登場 第Ⅱ章 古墳時代の祭祀と酒造 ー酒造道具(甕・甕)の登場ー 第Ⅲ章 朝廷の酒 ー飛鳥・奈良・平安時代の酒文化ー 第Ⅳ章 中世から現代へ ー酒造業の確立と日本清酒の誕生ー ・フォーラム、研究講座、展示解説、連携イベントを実施	7601人	奈良県産の日本酒の歴史を知って頂く機会として、奈良県酒造組合・正暦寺の特別協力も得て展示会を開催し、来館者からは好評を得た。博物館近隣の酒蔵とは連携イベントを実施し、展示会場の学芸員解説に加えての酒蔵見学には特に来館者の評価が高かった。